

1) 医学科学生の定員増

2) 入試選抜枠と地域枠推薦入試

2) 地域枠推薦入学者の推移

3) 地域医療志向の医師育成の取り組み
～地域医療支援学講座を中心に

1) 医学科学生の定員増

平成20年定員 95名(学士10名を含む)



+17名

平成23年定員 112名(学士10名を含む)

内訳)

- ・緊急医師確保対策地域枠推薦 5名(H21-29)
- ・経済財政改革の基本方針2008 5名(H21-)
- ・地域医療再生計画選抜枠 5名(H22-31)
- ・地域医療再生計画選抜枠 2名(H23-31)

2) 入試選抜枠と地域枠推薦入試

1年入学定員 102

その他 55

県内定着枠 7
(H23年度～31年度)

推薦 40

一般推薦 25

地域枠推薦(H18年度～) 10

(対象者)

島根県内のへき地出身者で、将来そのへき地での医療に貢献する意志のある者

(出願要件)

へき地の医療機関(5日以上)・社会福祉施設(3日以上)で適正評価を受け、市町村長等の面接(2回)を受けた者 など

(奨学金)

当該推薦枠入学者向けの奨学金を設定

緊急医師確保枠(H21年度～29年度) 5

(対象者)

島根県の医療に貢献する強い意志のある者

(出願要件)

- ・県内医療機関(5日以上)で適正評価を受け、島根県の面接(1回)を受けた者
- ・合格した場合に島根県の「緊急医師確保対策枠奨学金」を受給すること

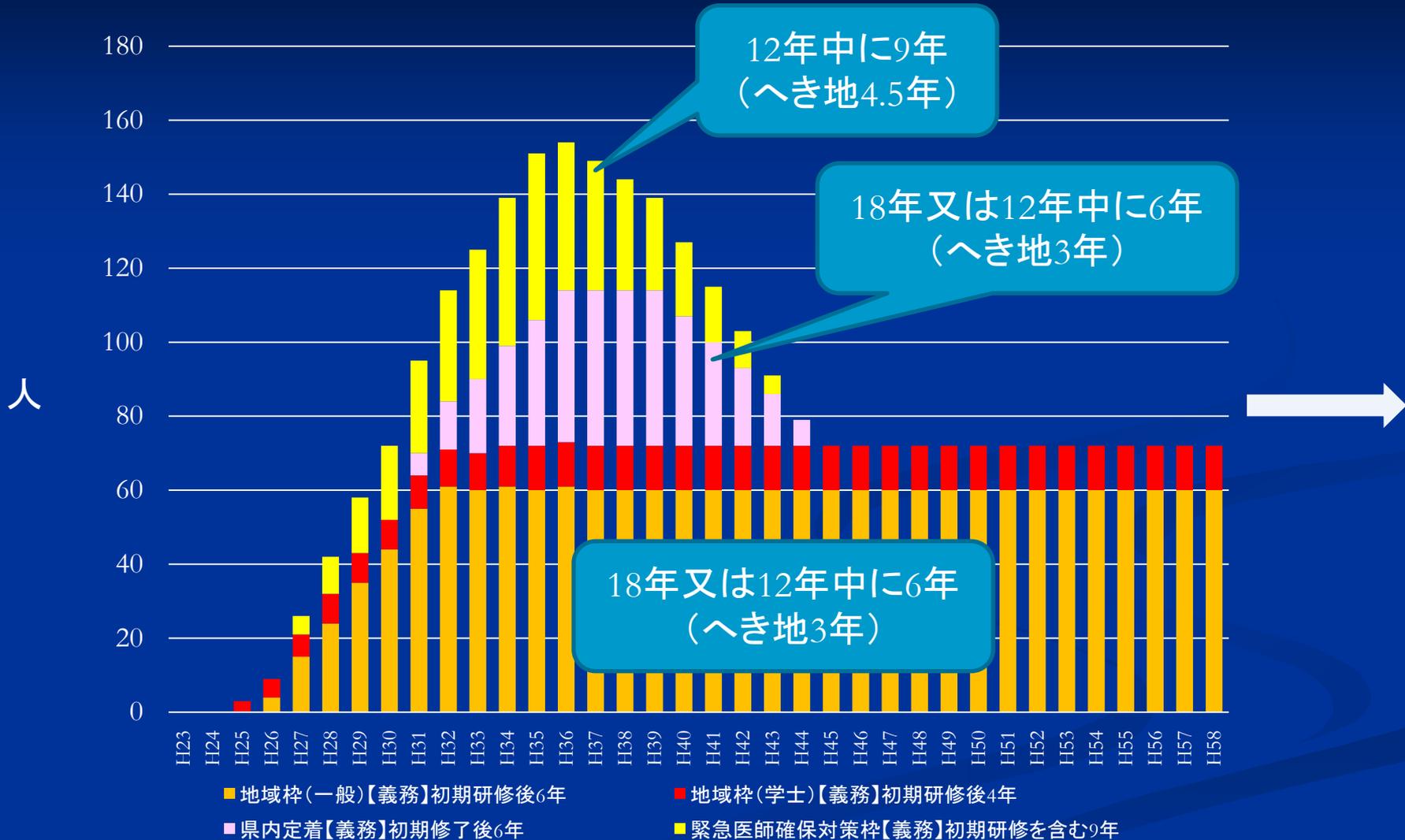
学士入学 10

一般枠 7

地域枠 3
(H19年度～)

奨学金のみの学生

3) 地域枠等の卒業生の推移



平成27年度から主な変更点

- すべての地域関連選抜枠の募集要項で、初期臨床研修、後期臨床研修を県内医療機関で実施（確約書を提出）
- 奨学金の猶予期間の短縮
貸与期間の3倍を2倍へ（選択可）

4) 地域医療志向の医師育成の取り組み

【正課のカリキュラム】

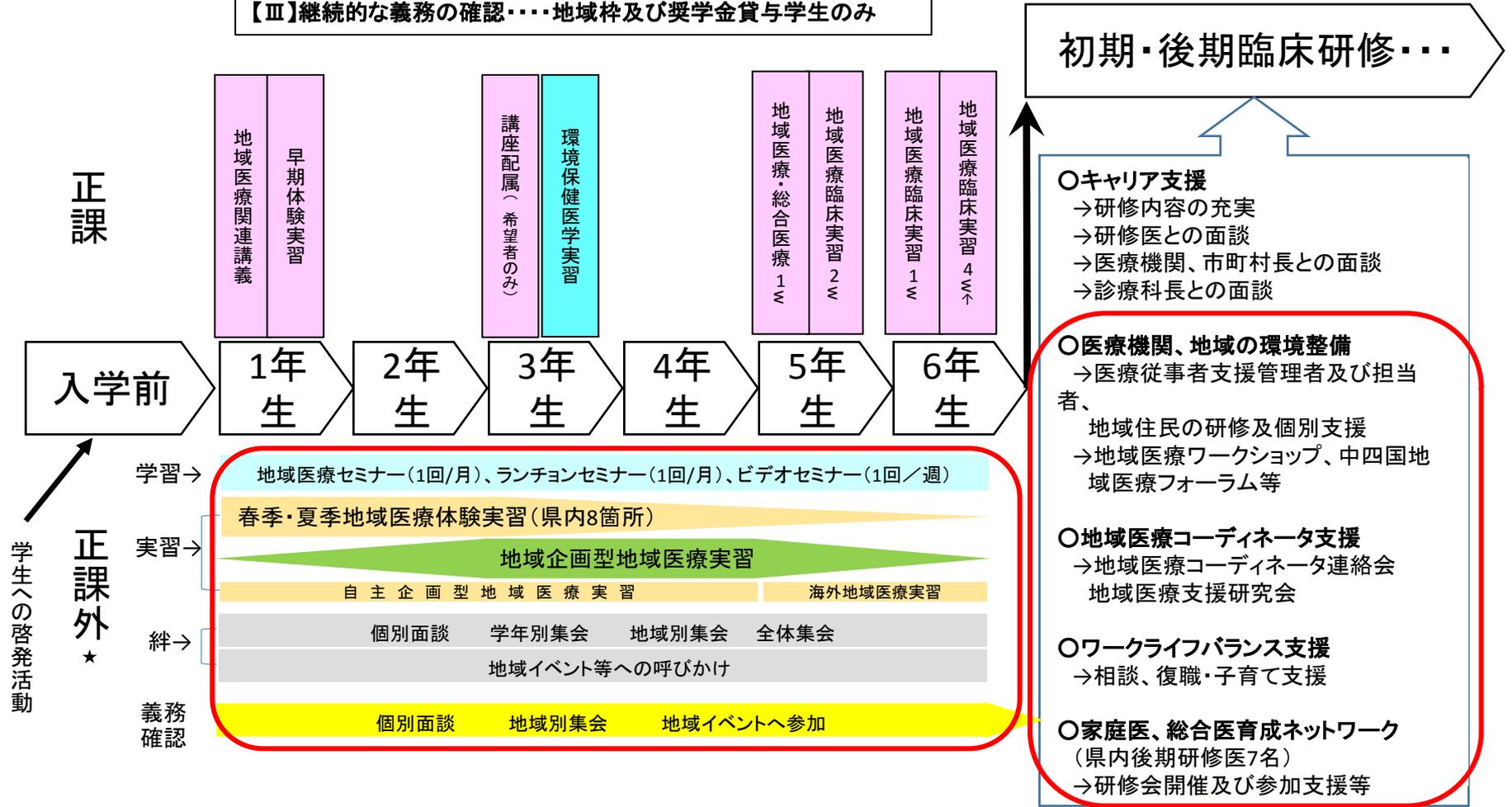
- | | | |
|------------------------|-----------|--------------|
| 1) 早期体験実習:1年次 | 必修 | 2年、3年、4年生が手薄 |
| 2) 地域医療関連講義:1年次 | 必修 | |
| 2) 講座配属:3年次 | 選択 | |
| 3) 臨床実習(地域医療・総合医学):5年次 | 必修 | |
| 4) 臨床実習(地域医療実習):5,6年次 | | |
| ・地域医療実習 I (2w以内) | 必修 | 出雲松江地域以外 |
| …5年次 | | |
| ・地域医療実習 II (4w以内) | 選択 | 出雲松江地域含む |
| …6年次 | | |

春夏の医療体験実習(自由単位)

学生自主企画型地域医療実習(自由単位)

地域医療志向の医師育成の全体像

- 【Ⅰ】継続的な学びの場の確保(正課+正課外)
~参加型地域医療実習等
- 【Ⅱ】絆づくり(学生同士、大学、地域)
- 【Ⅲ】継続的な義務の確認……地域枠及び奨学金貸与学生のみ



地域医療関連講義
早期体験実習

講座配属(希望者のみ)
環境保健医学実習

地域医療・総合医療 1
地域医療臨床実習 2

地域医療臨床実習 1
地域医療臨床実習 4

さらに特に地域枠の学生に着目して

(1) 地域別の取り組み

- ・ 地元に戻って市長さんとの交流
- ・ 地元地域医療関係イベントへの出席
- ・ 学内で出身市町村や医療機関との交流
～地域医療交流サロン

(2) 学年別集会

(3) 全体集会

(4) 個別面談………学生だけで180人程度

地域との絆

地域からも積極的なアプローチを